

## 令和4年度第1回恵那市市史編さん委員会 会議録

日時： 令和4年10月3日(月) 16:00～17:20

場所： 恵那市役所会議棟 大会議室

出席委員： (委員長) 丸山幸太郎 (副委員長) 前川登 (委員) 鶴飼伸幸、森川彰夫、和仁誠、岡本光美、坪井弥栄子、瀬瀬鍊一、石原甲喜、柘植昭男、瀬瀬佳恭、西尾公男、若森慶隆、杉山淳、平林道博、安藤常雄、鷹見健司、安藤克典、原田義巳

事務局： (教育委員会事務局) 長谷川幸洋、柄澤史枝、三宅唯美、三宅英機、伊藤智穂

### 1.開会

### 2.市長あいさつ

**市長**

改めまして皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中ありがとうございます。心からお礼申し上げます。

そして今回、恵那市史の編さん委員会を立ち上げさせていただきまして、新市が生まれて18年ですから、2年後の20年目に向けて、市史の編さんについて取り組んでいくことになりまして、委員として皆様にはお世話になります。よろしくお願いいたします。

昔の昭和の大合併、昭和29年の話もありますが、全てが残されておらず難しいということもありまして、今回、皆様の記憶が薄れる前に、新恵那市が生まれた状況を記録していくこと、これが後世の恵那市民にとって大切だとの思いで、今回恵那市史の編さんに着手する運びとなりました。

それぞれの地域の代表の皆さん、そして専門の知識をお持ちの皆さま方、いろんな皆様のお力をお借りして、何とかこれを完成に持っていきたいと思っている次第です。よろしくお願いいたします。

### 3.委員の委嘱、任命

**事務局**

続きまして、次第3、委員の委嘱、任命を行います。市長が順に皆様の前に進みますので、委嘱書をお受け取りください。なお任期については、本日より編さん事務が終了する令和6年度末、令和7年3月31日までとして、お願いいたします。

**市長**

(委員へ一人ずつ委嘱書を渡す。)

### 4.委員長、副委員長の選出

**事務局**

本来ならここで、委員の皆様や事務局の自己紹介をさせていただくところですが、時間の都合上、書面による紹介とさせていただきたいと思いますので、お許してください。

続きまして、次第4、委員長、副委員長の選出を行いたいと思います。恵那市市史編さん委員会設置要綱第5条第2項に、委員長、副委員長は委員の互選によることとしていますが、ご意見ございますでしょうか……。なければ、事務局案をお示しさせていただきたいと思います。委員長には丸山幸太郎様、副委員長には前川登様をお願いしたいと存じます。いかがでしょうか。(拍手)ありがとうございます。それでは丸山様、前川様、席の移動をお願い致します。

では、委員長になられました丸山様より、ご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 5. 委員長、副委員長のあいさつ

### 委員長

丸山でございます。合併 20 年史、しかも後 2 年ですから、短期間でやるわけで、行政がこの 20 年をどう展開したかということが、主力になると思います。市民の表情が各所出ている市勢要覧などを見て、合併 20 年史の中に市民の表情が各所ににじみ出るような中身になるといいと願いながら、皆様と一緒に編さんをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 事務局

ありがとうございました。続きまして、前川副委員長をお願いします。

### 副委員長

こういう市史というのは、一般の市民、私どもから見て、決して面白いものでも、また読みたいものでもない物だと思っておりますが、事実をきちんと残すということは、非常に大切だと思っております。

間違いのない事実を伝えるということで、我々も尽力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 事務局

ありがとうございます。

(市長退席)

議事に入る前に、本日 19 名全員ご出席いただきましたので、要綱第 6 条第 2 項により、会議が成立することをご報告させていただきます。

それでは議事に入りたく存じます。議事の進行につきまして、丸山委員長をお願いします。

## 6. 議事(1)「新恵那市史平成市町村合併 20 年史編(仮称)」の編さんについて

### 委員長

はい。議事は二つあります。

それでは 1 番の、「新恵那市史 平成市町村合併 20 年史編(仮称)」の編さんについて、中身は市史の内容や様式となっておりますが、事務局から説明をお願いします。

### 事務局

(1 番「新恵那市史平成市町村合併 20 年史編(仮称)」の編纂について、資料に基づき説明。)

### 委員長

今の説明で、編さん委員会を設置することがありまして、専門委員会が中身を編集する。第 1 章は合併の概要、第 2 章は新市の変遷で、4 つの節からです。説明を聞いて意見とか質問がありますか。

### 副委員長

第 5 節として、今後の課題や目標、上手くいかなかったことに対してやっていること等を書くのと、市が過去を糧に進んでいることが伝わり、市民としては、目標が達成されたかを検証したり将来に対する展望はどうしたらいいかを考えることができるかどうか。

### 委員長

皆さんの発言は大変重要でございまして、編さんの最高決定機関、そういった立場ですので、発言があったら続いていただきたい。

### 委員

編さんが進んでいくその途中で、こういった事業をこの文章の中に盛り込んでほしいというのが出てきた場合、いつの段階で申し出をすれば、盛り込むべき事として考えてもらえるかをお聞きしたい。

### 事務局

本日晒しているのは本当に骨格と大元の内容で、さらに肉付けして更に細かな内容が出てくると思います。実際に編さんしていくにあたり、内容の加筆など出てきますので、聞き取り等を行って、専門委員会や委員会の皆さんからも意見をいただいて、入れられる範囲で意

見を取り入れたいと考えています。

**委員長**

執筆を進めていく段階でまた更にその書く中身が出てくるでしょう。そして来年4月ごろにこの編さん委員会を開いて、執筆内容について編さん委員の皆さんから意見を出してもらおう。それをまたその後の執筆に反映していく。専門委員会の執筆内容に対して編さん委員会が注文をつけることになるかもしれませんが、全部は聞けないかもしれない。内容を良くするために、皆さんの意見を出していただきたい。

**委員**

次の編さん委員会で内容確認をするときに、その場では返答できないので、地域に持ち帰って地元で確認してから返答をするよう、期間がほしい。

**委員長**

来年の4月編さん委員会で読んでいただいて、ご意見をいただき専門委員会でまた検討する、ということになると思います。編さん委員の意見は真意に、この事業に対して真摯に言っていたらいいと思います。ただし、予算上受け止めてもらえないこともあるかもしれません。

**委員**

地域の20年の変遷を改めて見直して、これからどうするかというような前向きな形にしたいと思いますし、自分たちの町でも20年間の歩みを確かめながら前に進めるということで、地域13町の歴史の部分もある程度きちんとした形で入り込むような形にしたらどうかと思っています。他の地域はどんな変遷をしたかということも、興味があります。その辺は大事にして下さるとありがたい。

**委員長**

第2章の第2節に地域自治区があって、恵那市の特徴ある行政の在り方、地域自治区の中身を記し、関心を持っていきたいということです。当時の担当者どのように進めていったか、という事ですね。

**委員**

専門委員会と振興事務所との関係を密に連携して、専門委員会の質問事項があればすぐに振興事務所に赴いて地元で検討できるようにします。地域の内容は専門委員会では分からない可能性があるので、振興事務所や地域を通して、連携していただければいい資料が提供できると思いますし、十分に地域の機能を大事にいただいて、連携プレーでよろしく願いたい。

**委員長**

重要なところですね。やっぱり編さん委員会と専門委員会が関係を密にして、絶えず聞たり受け止めながら作っていくとゆうことです。

**委員**

専門委員の名簿には、選出区分ではなく経歴を載せた方がよい。また、専門委員会における生涯学習課長の役割は何か。

**事務局**

課長の役割については、事務局の調整役として専門委員会の中に入った方がいいのではということでしたが、あくまで事務局ですので、再度検討していきたいと思います。

**委員**

構想について行政の歴史が中心という気がします。

例えば、岩村高校が閉校になったことは、市役所でやったことではないので、出てこないのではないか。

**事務局**

提示している構想は、原案、網の部分であり、これから細かい中身を作っていく。恵那市内の歴史であったことを記述する中で、事実はなるべく残していきます。

確かに政治行政の整然とした並びにも見えますが、今回の資料では大きな概要として示しており、これから中身を作っていく流れです。

**委員**

教育文化で学校教育があって、ここに子ども園、小学校、中学校、教育委員会からICT活用など内容があるが、恵那南の中学校の統合という事は、市町村合併から始まって、ずっとこの20年間進んでいない。そのようなマイナス部分も記述する必要があるのではないか。

**副委員長**

合併をしたことでどういう弊害が起こったということもきちっと書いて欲しい。

**委員長**

とても大事なことです。他にいかがでしょう。

**委員**

専門委員会の方は、常駐でしょうか。

**事務局**

一室設けて、そこで常時活動できるような体制を整えていこうと考えています。常駐はしません。

**委員**

配布と書いてありますが、これは各戸へ配布されるということでしょうか。一般にも市販をされるのでしょうか。

**事務局**

市販もしますが、執筆で協力いただいた方には可能な限り、配布を考えた方がいいのではないかと思います。

**委員**

歴史書のようなスタイルを目指すのか。

**委員長**

普通、多くの市町村が、合併後だとか或いは市町村史を編さんした後の分を新現代史とかいう形で編さんします。事実を書き留める、そして様々な場所で使える。調べごとがあるときに読む、辞書的な意味合いも大切です。市が行ってきたことを正しく書いていくこと、そこに市民の活動、協力、各地の魅力あることがどう盛り込まれているか、そこが大切で、皆さんの意見がおそらく出て来ると思います。単なる行政史ではなく市民の動きを入れていきたい。

ただし、この執筆が1年間で皆さんの意見を全部盛り込めないというのが、今回の見通しですが、忌憚のなきようそれぞれの立場から、地域の立場から言っていただきたいと思います。

**事務局**

発行部数については、1,500部を予定しております。各戸に配布することは今のところ考えておりません。

**委員長**

やっぱり予算枠が決まっているわけですね。公の本だから、各図書館とか学校とかに配るわけですね。

**委員**

各地区のよく知っている人が見えるから、補助員として任命されたらどうですかという提案をしたい。

**委員**

文献的に検索できるかどうか、同人誌のような編さんになるのか、他所からでも恵那市の歴史などを探ることができるか、というような事がポイントかと思います。

**事務局**

この編さん事業で行うことは、歴史書をつくることです。合併したことで起きた課題には、地域での聞き取り等を通して記録として残す。今後の課題や目標は、市史ではなく市総合計画で記されるものです。今回の編さんは、平成市町村合併に特化した「合併編」であり、恵那市での事実、歴史を淡々と記録として残すものになります。

議事(2)市史の書名について

委員長

それでは議題2の、市史の書名についてご提案していただきたい。

事務局

今お示ししている、仮称になっております市史の書名について、ここで皆様にお諮りして決定していきたくと思っています。

今「新恵那市史 平成市町村合併20年史編(仮称)」となっております。事務局案として4つ提示をさせていただいております。

委員長

案として「恵那市史平成合併編」「恵那市平成合併史」「恵那市平成合併20年史」「新恵那市史 平成市町村合併20年史編」です。

委員

合併前の市町村史の続きを通史編として発行するとき、この平成合併の20年間は改めて執筆されるか。

事務局

通史編の発刊はまだ決まっておらず、今後協議をしていくこととなります。今回の発刊により機運が盛り上がり、通史編を作成することになれば、この20年間も含めて記述されます。

委員長

それでは、市史の名称について多数決をとります。挙手の形でどうですか。

全委員

異議なし。(多数決を実施)

- 1 (恵那市史平成合併編)の方・・・11人。
- 2 (恵那市平成合併史)の方・・・2人。
- 3 (恵那市平成合併20年史)の方・・・6人。

最終判断は市長にゆだねるということで、今日は終わりにしたいと思います。

7. 閉会

事務局

これで「恵那市市史編さん委員会」は終了となりますが、閉会の挨拶を岡田教育長、お願いします。

教育長

今日はありがとうございました。骨格についてお話をいただき、様々な意見をいただきました。これから専門委員会で肉付けをして、形にしていきますが、節目で皆様にお集りいただき、ご意見等いただきながら、事実を残す市史になるように努めていきたいと思っていますので、これからもいろいろご協力いただければありがたいです。今日は本当にありがとうございました。